



2024年4月1日発行  
1947年10月27日  
第3種郵便物認可  
発行所/日本YMCA同盟  
東京都新宿区本郷町2-11  
THE YMCA神戸版  
神戸YMCA  
〒650-0001  
神戸市中央区加納町2-7-11  
Tel 078-241-7201  
Fax 078-241-7479  
www.kobeymca.org  
発行人/井上真二  
編集/本部事務局  
印刷/（有）わかばやし印刷

# YMCA News



## 年間聖句

「平和を造る人々は幸いである。」  
マタイによる福音書5章9節(聖書協会共同訳)



会長 中道 基夫  
神戸YMCA 総主事 井上 真二

2025年1月17日は阪神・淡路大震災から丸30年となります。内閣府の防災情報のページには、「我が国は、その位置、地形、地質、気象などの自然的条件から、台風、豪雨、豪雪、洪水、土砂災害、地震、津波、火山噴火などによる災害が発生しやすい国土となっている。世界全体に占める日本の災害発生割合は、マグニチュード6以上の地震回数20.8%、活火山数7.0%、死者数0.4%、災害被害額18.3%など、世界の0.25%の国土面積に比して、非常に高くなっている」とあります。私たちがこれをどのように受け止め、防災や減災につなげていけばいいのかを考えさせられます。

2024年度は、日本YMCA中期計画を基に「私たちの使命」「私たちの願い」そして「使命実現のための柱」を策定した「神戸YMCA中期計画 VISION2030」の3ヵ年計画の2年目となります。神戸YMCAのすべての活動がポジティブネットを広げ、希望ある豊かな社会を創り、社会に必要とされることを目指してまいりますので、皆さまのご支援、ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。



# 2024年度が スタートします

### 私たちの使命

私たちは、すべてのいのちが尊ばれ、互いに支え合う平和な社会を創ります。

### 私たちの願い

私たちは、世代を超えた人々が出会い、つながり合う場をつくり、日本YMCA基本原則に基づき豊かな未来を創造する責任ある人を育てます。

### 使命実現のための柱

- ◆未来を創る子どもたちの育ちを支えます。
- ◆若者のつながりと関わりを拓けるプラットフォームの場をも創ります。
- ◆ポジティブネットのある豊かな社会を目指します。
- ◆未来の社会への責任を担います。

### <2024年度の年間聖句>

「平和を造る人々は幸いである。」マタイによる福音書5章9節(聖書協会共同訳)

\*下記の「年間聖句に込められた願い」をご覧ください。

## 年間聖句に込められた願い

「平和を造る人々は幸いである。」  
マタイによる福音書5章9節(聖書協会共同訳)

ミッション委員会では、2022・23年度と2年続けて「平和」について述べられている箇所を年間聖句に選んできました。2024年度の聖句選定にあたり、引き続き「平和」についての箇所にするのか、別の箇所にするのかをまず話し合いました。ウクライナ・ロシアの戦争は続いており、ハマスとイスラエルの紛争も始まるといった現在の情勢を考えると、引き続き「平和」をキーワードにすることがふさわしいという意見で一致しました。

推薦があった「平和」についての聖句の中から、キリスト教にあまり詳しくない方にも伝わりやすく、受け入れられやすい「平和を実現する人々は幸いである」を選びました。しかし、神戸YMCAのプログラムには多くの子どもたちも参加しています。新共同訳の“実現する”ということばよりも、聖書協会共同訳の“造る”ということばのほうが、より伝わりやすいと考え、聖書協会共同訳の箇所を年間聖句に選びました。

この箇所は齊藤 靖さん(神戸YMCA職員)と岩井義矢さん(神戸YMCA職員)からの推薦です。お二人に想いを聞きました。

### 齊藤 靖さん

時代背景を考えるとキーワードは「平和」。また、クリスチャンではない方もわかりやすいものを第一に考えました。平和に対して傍観するのではなく、アクションを起こすことが大切。「実現する」のことは、まさに主体者として行動しようという意味が現れていると考え、この箇所を推薦しました。

### 岩井 義矢さん

私たち一人ひとは神様から愛されています。状況・状態に関係なくいつも愛を受ける受動的な存在ですが、その愛を自分の中だけに留めず、能動的なアクションによって身近なところにその愛を示していく、それが平和だと思います。神様は私たちの一つひとつのわざを用いてくださいます。赤ちゃんであっても子どもであっても、若者であっても高齢者であっても、その存在、姿だけでも、平和を造り出すチカラになります。また、平和を造り出すためには「人々」が必要です。YMCAは一人ではなく、一人ひとりの思いの集まり(アソシエーション)ですので、共に平和を意識することにより、時間はかかるとも一時的ではなく持続的なものへとつながっていくことを信じています。

## YYYフォーラム

## 神戸YMCAと神戸讃歌 ～これからもずっと歩んでゆこう～

会員増強委員会委員長・神戸キリスト教青年会常議員 秀平 悠磨さん



昨年、関西を盛り上げたトピックスのひとつが、ヴィッセル神戸の初優勝でした。チームの始動日は1995年1月17日。阪神・淡路大震災の日でした。(サポーターが作詞した「神戸讃歌」という応援歌があります。ぜひ聞いてみてください。)

「YMCAの未来のために」をテーマにした今回のYYYフォーラムでは、①その阪神・淡路大震災から来年で30年ということで「今ならどんな炊き出しをしますか? ～あの日から29年～」、②「『絶望』の反対語は『ユーモア』だ」という宇多田ヒカルの発言から構想を得た「ムービーを作ろう! ～絶望の反対は

ユーモア～」、③YMCAとの未来を考える「手紙を書こう! ～拝啓10年後のYMCAへ～」と、3つのグループに分かれて話し合いました。

①炊き出しグループは、能登半島地震の発生を受けて、現地のY'sの方とリアルタイムで繋がり、神戸YMCAだからこそできることを模索。②ムービーグループは高校生のユースに教を請い、ユーモアあるムービーの撮影編集。③手紙グループは10年後に想いを馳せて手紙を作成。10年後の開封が楽しみです。

来年度のYYYフォーラムにも、皆さん奮ってご参加ください!

## 第40回 中日本YMCA水泳大会

## ウエルネスセンター

2月18日(日)、大阪府門真市の東和薬品RACTABドーム サブプールで「第40回 中日本YMCA水泳大会」が実施されました。大阪、京都、奈良、神戸各YMCAの計7プランチに所属する幼児(年中)から高校3年生までの約150名が参加しました。

神戸YMCAの参加メンバーから感想が届きましたので、ご紹介いたします。

## 【中学生・女子】

以前、リーダーが言っていた「個人競技は順位も気になるけど、まずは今の自分への挑戦やで」。そこで私は「自分のベストタイムを出すこと」を目標に、大会に参加することにしました。

前回は参加したので、あまり緊張せずに泳げました。他のYMCAメンバーにも会うことができ、負けたくない気持ちも少し出て、良い泳ぎができたかな。

出場した3種目中2種目で、ベストタイム(ちょっとだけ)が出せました。が、表彰台には...届かなかった。でも満足のいくレースでした。

最近、練習を頑張れないときがあったので、この結果をポジティブに捉え、今後も大会や記録会にチャレンジし、少しでもいいので「今の自分越え」をやりたいと思っています。

参加したこどもたちが「何かをつかめる」プログラムになればと感じています。「まずは、やってみよう!」次の大会もぜひ、ご参加を!



## 冬期実習報告会

## 専門学校ホテル学科

ホスピタリティのプロとしての自覚を持ち、「おもてなし」とは何かを現場での実践を通して学ぶ、それがホテル実習です。神戸YMCAでは2年間に3回の実習があり、この冬も全国各地のホテルで約1ヵ月間の実習が行われました。

学校で学んだ基礎知識を実践力へと昇華していく、その過程では悩みや苦しみもありますが、それを乗り越えた学生たちは一回り成長して戻ってきます。一流の講師陣を前にした発表は、さぞ緊張したことと思いますが、その成長ぶりに講師から温かい拍手が送られていました。

お忙しい中、受け入れて下さり、ご指導いただいた各ホテル、従業員の皆さまに、この場をお借りして深く感謝申し上げます。

ホテル学科は今年60周年を迎えます。秋には記念式典と懇親会を予定しています。これまでの歩みを振り返り、関係者の皆さまに感謝をお伝えするとともに、今後のより一層の飛躍の機会といたく存じます。

日時:2024年11月6日(水)18:30～(予定)

会場:ANAクラウンプラザホテル神戸

内容:記念式典、懇親会



## 絵本プロジェクト贈呈式

神戸YMCAの活動を応援して下さるワイズメンズクラブ国際協会西日本区六甲部メネット委員会から、当YMCAの子育て支援施設に絵本の贈呈があり、2月10日(土)に、たかとり児童館にて贈呈式が行われました。贈呈式後には、宝塚ワイズメンズクラブのアソシエイト会員、喜多邦子さんきたくにこによる絵本の読み聞かせも行われました。この「絵本プロジェクト」は、こどもたちの健全な成

長に少しでも寄与したいというメネット委員会の皆さまの思いから始められた活動です。この場をお借りしまして感謝申し上げます。



## R E P O R T

## 学園都市YMCA保育ルーム

## おおきくなったね

学園都市YMCA保育ルームでは、2月にクラス懇談会と「おおきくなったね」の行事を行いました。

クラス懇談会では、1年間のこどもたちの姿を動画や写真で振り返り、保護者の方と共にこどもたちの成長を喜び合いました。保護者全員が顔を合わせる機会はないかなありませんので、1年をみんなで振り返りながら、それぞれのこどもたちへの思いや感想を伝え合う良い交流の場となりました。

その後、1歳児たんぽぽ組は、お家の人たちと一緒に「やまのおんがくか」にあわせて楽器遊びを楽しみました。2歳児のちゅうりっぷ組は、劇遊び「もりのおふろ」を

披露しました。たくさんの方が見ている前で、ちょっぴり緊張した面持ちでしたが、それぞれが自由な表現を楽しみながら、自分の役を演じていました。

保護者の方にとっては貴重なお休みの日でしたが、こどもたちの姿に、参加したみんなが癒され心温まる時間を過ごすことができました。



## 須磨YMCA学童保育クラブ

## 大切にすべきこどもたちの発想

どんなことでもスポンジのように吸収する小学生の時期。「きょう学童で何をして遊ぼうか?」と考えながら帰ってくる子もたくさんいます。

ある日、1年生のお友だちが、外階段の踊り場に段ボールを敷き詰め、ままごと道具を運んできました。そこから仲間が集まり、おうちごっこが始まりました。それを見ていたリーダーたちは「こういう場所も使い方によっては楽しい秘密基地になるんだな」と、こどもたちの発想にいつも驚いています。

今ではおうちごっただけでなく、異年齢のこどもたちでカードゲームをしているときも。秘密基地が、み

んなでほっこりする場となっています。これからもこどもたちの豊かな発想を大切にしながら、可能な限り、さまざまな経験ができるような環境を作りたいと思います。また、これからもリーダーたちとの信頼関係を育み、年齢に関係なく本気で遊ぶことができるこどもたちであってほしいと願っています。



## プレゼントの先にあるもの～Amazonみんなでサンタクロース～

神戸YMCAはAmazonの社会貢献活動のひとつである「みんなでサンタクロース」プロジェクトに参画していました。クリスマスや年末年始のホリデーシーズンに、Amazonの「ほしいものリスト」を活用したチャリティーキャンペーンです。

こどもたちが欲しい(使いたい)玩具や絵本などを神戸YMCAの各施設が選び、「ほしいものリスト」に入れていると、この取り組みに賛同する方が購入していただき、それが各施設に届けられるという仕組みです。

プレゼントが届くたびに、「みんなのことを知らない人

が、みんなのことを想って届けてくれている」と職員が伝え続けていました。すると、能登半島地震の緊急募金のことを話した際に「知らない人のために募金しない」という声がこどもから出ました。このプロジェクトは、こどもたちが「プレゼントが届いてうれしい」と感じるだけでなく、出会ったことのない人とのつながりを感じ、そしてそのことによって自分たちの考え方がさらに広がっていく(成長していく)、素敵なものだと感じています。こどもたちに、プレゼントとともに心の成長の種を届けてくださった皆さま、ありがとうございました。



## こくさいのまど

## 第9回 日中韓YMCA平和フォーラム

「第9回 日中韓YMCA平和フォーラム」が2月1日(木)から4日(日)まで中国・上海で行われ、参加させていただきました。韓国17名、中国23名、日本19名のユースとシニア、計59名が集まりました。

魯迅(Lu Xun)とゆかりの深い内山書店址や魯迅記念館、大韓民国臨時政府旧址などを訪れ、日中韓の歴史を学ぶ機会を得ました。また、フォーラムではそれぞれの国のYMCAの思いや考え方、自国の中でのYMCAの立ち位置などに違いがあり、さまざまな

思いや意見が交錯する場面もありました。ユース世代の平和についての話し合いも、2カ国よりも3カ国間ならではの難しさ、複雑さを感じました。ただ、3カ国で話し合いをしていくからこそ意味があり、このフォーラムが2カ国ではなく3カ国で行われることこそが、平和を創っていくひとつの方法であると思いました。これからも多くの仲間たちと関わり、互いを尊重

することを忘れず日中韓の交流を続け、平和な社会の実現を目指し、歩んでいきたいと思っています。

西宮YMCA職員 橋本 唯さん



## YMCA STORY

### 私とYMCA

私はYMCAの活動から「人と人とのつながり」「人への温かい思いやり」など大切なことを多く学んだ。

私とYMCAのつながりは、私の母が短期大学生時代の昭和39年から2年間、西神戸のリーダーとして活動したときから始まった。当時、長田区の西神戸ランチは、旧ちとせ幼稚園の園舎と駒ヶ林保育所を使用し、毎週土曜日や夏休みに、地域のこどもたちに遊び場を提供し活動していた。また、一緒に学生リーダーをしていた山口徹さん(後の総主事)、ヤンナンこと柳谷利起さんたちと小豆島の内海キャンプ場(開場に至らず)を開拓したことや、当時の総主事・今井鎮雄さんにお世話になったことなど、私は小さいころから思い出を聞いて育った。

幼稚園の頃からは西宮ランチの「野外活動友の会」例会に参加していた。おばあちゃん子で過保護だった私は、随分とリーダーに迷惑をかけた記憶がある。小学1年生で余島キャンプに参加するときは、初めて親元を離れて宿泊する不安があったことをよく覚えている。説明会とき、不安そうにしている私に、吉田昌義主事(元ちとせ幼稚園園長)が独特の良く通る声で「大丈夫?」と声をかけてくださり安心したこと。しかしキャンプ中はホームシックでリーダーを困らせたこと。両親への手紙を複雑な想いで書いたこと。海中は砂が舞って視界が悪かったこと。何より班の皆で「班旗」を作ったときが楽しかったことはよく覚えている。その旗は、なぜか今も私が持っている。

学校法人 慈愛学園理事長・学校法人 神戸YMCA学園評議員 **高橋 秀典 さん**

4年生から参加した沼島キャンプでは、キャンプ場を出ての1泊ハイキングで作ったカレーが美味しく食べ過ぎ、夜中にお腹が痛くなり、リーダーがキャンプ場までナースを呼びに行ってくれたこともあった。

冬のキャンプでは、小学校低学年で「雪と遊ぼう」、3年生からは志賀高原のスキーキャンプに参加した。同じ班のメンバーと馬が合わず、最終日のお土産タイム前にけんかをして拗ねて部屋から出なかったら、相手の子が「一緒に行こう」と迎えに来てくれて、ようやく納得したことも記憶している。多くの苦い思い出と共に、それ以上に楽しかった思い出があり、大学生になると沼島とスキーのリーダーとして活動した。夏の海や島、冬の雪山の自然の美しさや厳しさ、キャンプ場の運営、島の人たちとの交流、カウンセラーとしての心構え、皆で協力して作るスタンツ、一体となるキャンプソング、そして大切な仲間、などなど。数えきれない多くの学びは幼稚園教諭として、また経営者として、大変役に立っている。

母の妹(叔母)とその息子(従弟)は元リーダーで、私の娘も現役の余島リーダーとして活動している。親子3代でお世話になり、人生を豊かにしてくださったことに感謝しかない。



## 教会にて

## ワイズコーナー

六甲部国際交流主査 **柏原 佳子 さん**  
(芦屋ワイズメンズクラブ)

1月も終わる頃、冬枯れの芝が伸びているのに気づき、教会の植栽係の友人と庭の手入れに行きました。12月には真っ白な花を咲かせた山茶花の茶色い花がらが残っています。腰を落とすと地面から冷気が這い上がってきます。雑草の中に、水仙がみずみずしい蕾をつけているのを見つけました。どなたかが植えられたのでしょうか、高齢者施設に入られた教会の会員のお顔が目に見えかけました。一緒に草採りをしたことが懐かしく思い出されます。その時々この教会を愛された先人への感謝の気持ちが湧いてきました。

静けさの中、遠くから電動芝刈り機の音が聞こえてきます。沈黙の中で、その感謝の気持ちも萎えそうになった頃、牧師夫妻が外出から戻られ仲間は2人から4人になりました。手が増えると思議なもので力が湧いてきます。もうひと働きと花壇の雑草も見事に刈り取り、刈られた草で袋はいっぱいに膨れました。作業の合間の会話も弾み、人の温かみが伝わってきます。Y'sの活動も同じこと、共に活動することが大きな力になるのだと思いました。

紅色の山茶花が散らせた花びらは少し残しておきました。離れて眺めると周囲の景色と溶け合って美しいものです。春が確実に訪れてくる喜びと、奉仕と健康に感謝いたします。

## 能登半島地震支援活動報告

能登半島地震で被災された皆さま、悲しみと不安の中におられる皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。YMCAは全国で共同して、1月5日より緊急支援募金を開始しました。皆さまからお寄せいただいた神戸YMCA緊急支援募金は、街頭募金活動(1/24西神戸地域、2/3西宮地域)も合わせ、1,179,717円となっています(2/9現在)。皆さまの

ご支援ご協力に心より感謝申し上げます。

YMCAは金沢市の「いしかわ総合スポーツセンター」に開設された「1.5次避難所」に全国そして神戸からも職員を派遣し、また東京YMCAは輪島市野町の避難所サポートも行っています。今後は避難所支援のほか、リフレッシュプログラム等も提供できるよう、全国のYMCAで協働しながら準備を進めています。

阪神・淡路大震災から29年を経て、今改めて考えること、

つながること、行動することの意味を、また経験・記憶・記録を継承していくことの大切さを感じます。引き続き支援活動へのご理解ご協力の程よろしく願いいたします。

\*詳細は随時、日本YMCA同盟HP

(<https://www.ymcajapan.org/>)でお知らせします。

能登半島地震YMCA緊急支援募金  
2024(寄附サイト)はこちら



## 感謝 寄附・募金

(敬称略、順不同)(前号掲載以降～2/13まで)

### 寄附

大田 厚三郎、片岡 尹子、岩沖 富子、杉原 賢治、田村 光、Ding Dong Ringers、神戸YMCAベルクワイアー、神戸ワイズメンズクラブ、宝塚ワイズメンズクラブ、神戸西ワイズメンズクラブ、芦屋ワイズメンズクラブ、学園みんなのクリスマス募金

### チャリティーラン

尾崎 美千代、美崎 晋、森 章一、川崎 孝子、中道 基夫、山田 滋己、秀平 悠磨、神戸西ワイズメンズクラブ、神戸学園都市ワイズメンズクラブ、西神戸YMCA幼稚園有志

### 能登半島地震緊急支援募金

南 嘉明、谷川 朋、谷川 みちこ、大路 陽琉、廣瀬 頼子、大石 恵理子、今村 幸子、山本 常雄、岡田 五十子、草野 修、長谷川 夕貴、松森 正樹、倉本 洋子、長内 建佑、古橋 知和、井上 真二、権藤 みか、財部 仁子、雉子 牟田 祐貴子、藤田 純一、松永 由紀子、坂本 庸秀、片岡 愛子、板倉 泰朋、カドヤ ユリナ、宮地 京子、杉山 康紀、齊藤 靖、進藤 啓介、中田 杉子、舩永 知子、濱野 静華、舩永 洋子、村上 愛子、黒野 千恵、三木 圭子、杉山 秀光、長沢 百合子、森本 望、加茂 周治、谷中 康弘、上杉 直子、畑木 崇宏、朱 榮讚、中村 直子、禁煙酒場 ゼファー食堂 西岡岡尚、神戸ワイズメンズクラブ、神戸学園都市ワイズメンズクラブ、芦屋ワイズメンズクラブ、Y Y Yフォーラム会場募金

### 国際協力募金

(パレスチナ緊急支援、ウクライナ支援を含む)

大石 恵理子、松田 道子、家城 耕一、細見 俊雄、熊谷 親啓、小澤 夏子、石 亜矢子、村上 愛子、上杉 直子、福井 真佐代、東 恭子、吉村 千恵、中野 ひな、橋本 唯、村上 愛子、熊谷 郁子、うどん な也、社会福祉法人 頌栄会 頌栄児童館、学校法人 頌栄保育学院 頌栄幼稚園、社会福祉法人 頌栄会 認定こども園 頌栄保育園、社会福祉法人 頌栄会 認定こども園 西鈴蘭台 頌栄保育園、学校法人 啓明学院、社会福祉法人 イエス 友愛幼児園、社会福祉法人 聖ミカエル福祉会 聖ミカエル幼保連携型認定こども園、宝塚ワイズメンズクラブ、日本語学科学生有志

この他にも、多数の寄附・募金をいただいております。感謝をもってご報告します。

## 神戸YMCA 遺贈制度

神戸YMCAを遺産の受取人に指定し、寄附いただく制度です。  
神戸YMCAは創立以来、多くの方々の物心両面からのお支えによって先駆的な動きを進めてまいりました。  
大切な財産を未来に遺し、神戸YMCAが今後も社会に必要なとされる活動を展開できるよう、大切に役立ててまいります。

## 神戸YMCAの使命

## 神戸YMCAの願い

私たちは、すべてのいのちが尊ばれ、互いに支え合う平和な社会を創ります。

私たちは、世代を超えた人々が出会い、つながり合う場をつくり、  
日本YMCA基本原則に基づき豊かな未来を創造する責任ある人を育てます。  
(神戸YMCA中期計画VISION2030)

ファミリーウエルネスセンター	☎078(241)7202	西神南YMCA	☎078(993)1560	学園都市YMCA保育ルーム	☎078(794)3045
ランゲージセンター	☎078(241)7204	須磨YMCA	☎078(734)0183	ユースプラザKOBE・EAST	☎078(891)8222
専門学校	☎078(241)7203	YMCA保育園	☎078(794)3901	神戸市立太山寺児童館	☎078(794)4790
西宮YMCA	☎0798(35)5987	西宮YMCA保育園	☎0798(35)5992	こべっこあそびひろば西神中央	☎078(964)5808
余島野外活動センター	☎0879(62)2241	西神戸YMCA保育園	☎078(792)1011	神戸市立たかとり児童館	☎078(735)6230
キャンプサービスセンター	☎078(241)7216	神戸学園都市YMCAこども園	☎078(791)2955	YMCA保育園おひさま分園	☎078(794)4080
国際・奉仕センター	☎078(241)7204	神戸YMCAちとせ幼稚園	☎078(732)3542	おやこふらっとひろば西	☎078(939)4530
ウエルネスセンター学園都市	☎078(793)7401	YMCAちとせ保育ルーム	☎078(786)3821	西宮市香櫛園留守家庭児童育成センター	☎0798(33)0214
西神戸YMCA	☎078(793)7402	西神戸YMCA幼稚園	☎078(997)7705	西宮市用海留守家庭児童育成センター	☎0798(35)1522
神戸YMCA高等学院	☎078(793)7435	西宮つとがわYMCA保育園	☎0798(26)1016	西宮市浜脇留守家庭児童育成センター	☎0798(34)1444
YMCAおひさま	☎078(793)9077	あかしこども広場	☎078(918)6355		

